

骨密度測定装置の地域共同利用のご案内

わが国では、急速な高齢化に伴い、骨粗しょう症の患者が年々増加し、現時点で有病者数 1,300 万人といわれています。

骨粗しょう症は、骨の密度が低くなることで、骨の強度が低下し、骨折のリスクの増大をもたらす骨の病気です。個人差はありますが、一般的には 50 歳を境に減少傾向にあり、特に閉経後の女性はホルモンバランスの変化により男性に比べて減少傾向が強くなります。

骨密度は、腰椎正面もしくは大腿骨を DXA 法（デキサ法）で測定することが標準検査法とされていますが、県内での装置の普及は、まだまだ少ない状況です。

山梨県立中央病院では、当院の連携登録医を対象に DXA 法による検査の受け入れを行うことになりましたので、骨粗しょう症の疑いがある方、既に治療されている方の精度の高い骨密度評価が可能です。特に診察等はありません。結果は、紹介医療施設に後日郵送させていただきます。検査結果は、かかりつけ医に送付させていただきます。そちらの先生からお聴き下さい。なお、検査データは、当院において電子保管されますので、継続的な評価が可能です。

○ DXA（Dual energy X-ray Absorptiometry）法とは

二重エネルギー X 線吸収測定法といわれ、骨の密度を測定する方法の一つです。誤差が少なく、精度が高いところが特徴です。

○ どんな検査ですか？

仰臥位で 15 分程度寝ているだけです。また、微量の X 線ですので**低被ばく**です。

* 妊娠中、またはその可能性がある方の検査は控えさせていただきます。

○ 検査当日は？

検査時間の 15 分前までに 1 階初診受付にお越しください。

検査当日の食事制限はありません。処方されているお薬は通常通り服用してください。

○ 費用はどのくらいかかりますか？

腰椎と大腿骨を測定した場合

3 割負担・・・ 2,964 円。 2 割負担・・・ 1,976 円。 1 割負担・・・ 988 円。



【問合せ先】

山梨県立中央病院 患者支援センター
〒400-8506

山梨県甲府市富士見一丁目 1 番 1 号
TEL 055-253-7111